

平成 19 年 4 月 28 日

大学関係者各位

「人間ネットワーク」執行部会
第 18 回「人間ネットワーク」運営委員会

第 18 回「人間ネットワーク」(東京開催)のご案内

謹啓、新緑の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私ども私立大学職員で構成する「私立大学職員人間ネットワーク」は、従来の提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループです。

本会は、別添のとおり設立趣旨に基づき活動を続けておりますが、会を重ねる毎に本会の趣旨に賛同し参加いただく方が増え、本会が目指すところの、“大学職員のための情報交換機能を有し、且つ人と人とのつながりを大切にする”という理念が拡充しつつあり、益々「人間ネットワーク」の名にふさわしいものとなってまいりました。

今回は、東京開催ということで、大正大学を会場校としより多くの方々と情報交換が行なえるようにと、会場校・執行部ともども準備を進めております。

21世紀を向かえたものの、社会情勢は日々混沌としおります。故にキーワードのひとつとして今世紀は“心の時代”とも言われており、そうした世情の中にあって、我々大学が抱える問題も益々複雑かつ多様化し、大学の未来に向けて職員一人一人の資質が今以上に問われることは必至となる状況となってまいりました。

そのような時代だからこそ“人と人とのつながり”を大切にし、より多くの方々の英知を結集し問題解決への手がかりとなる場が必要であると考えます。

何卒本会の趣旨をご理解いただき、本会への参加は大学職員としての資質向上の場であると位置付けて、職員研修の一環に取り入れて頂ければ幸いです。

開催要項は別紙のとおりですので、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数のご参会をお待ちしておりますとともに、貴学が益々発展されますようご祈念申し上げます。

謹白

【「私立大学職員 人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

西暦2007年、統計上日本の大学においては大きな波紋を呼ぶ全入時代（大学総定員と18歳進学人口がイーコールとなる）に突入する。そこで、これからの私立大学のあり方を模索する中で、大学を構成する一員としての事務職員も、日本の大学における激動の時代に対してどのように理解し対処すべきかを個々が帰属する大学内だけで考えるのではなく、言い換えれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めることが不可欠であると考え。故に、各私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要である。

したがって、私ども私立大学職員で構成する「私立大学職員人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士の意見交換により一人一人の自己啓発を促すことを目的とした研修グループを目指すものである。毎回取り上げるテーマに関して種々意見交換を行えば行うほど、21世紀に向けて我々私立大学が抱える問題が複雑かつ多様化してきていることを痛感するばかりである。であるが故に、もう個々の大学における教員組織だけで直面する問題に対して思考し解決していくという状況ではなく、日本の私立大学が大学間の垣根を越え真剣に議論し、協力し合う時代の到来であると考えた時、職員は職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の情報ネットワークが必要であり、そのために「私立大学職員人間ネットワーク」の活動が不可欠であると痛切に感じるのである。したがって、より多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかかりとなればと考える。私ども「私立大学職員人間ネットワーク」は、私立大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたいと切に考える。

【活動経歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学理工学部	履修登録システムの事例報告
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・京都外国語大学	FD活動についての現状報告
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県立大学	「著作権」についての理解
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について（続）
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える

第 18 回「人間ネットワーク」(東京開催)開催要項

- 会場校 (大学) ご挨拶 -

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第 18 回 (東京開催) は、私ども大正大学が会場校を務めさせて頂くこととなりました。メインテーマは「高等教育のデザインと大学人の役割」です。研修を通じて、“事務職員から大学人へ” 転化する必要性を体感して頂きたいと思います。業務繁多の時期とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

1. 開催日程 平成 19 年 6 月 23 日 (土)

12:30 ~ 13:00	キャンパスツアー (希望者のみ) 参加される方は、1号館2階大会議室前にお集まりください。
13:00 ~ 13:30	受付 (1号館2階)
13:30 ~ 18:10	第 1 部《研修会》 メインテーマ：『高等教育のデザインと大学人の役割』 13:30 ~ 13:40 開会・あいさつ (10分) 13:40 ~ 15:00 基調講演 (80分) 「大学教育の改革課題と職員の役割 - 教職員の協働による教学支援を目指して -」 講師：寺崎昌男先生 キーワード：大学人、学生、サービス、役割、改革、カリキュラム、 初年次、地域貢献、SD&FD 15:00 ~ 15:30 質疑応答 (30分) 15:30 ~ 15:45 (休憩) (15分) 15:45 ~ 17:15 テーマ別グループ討議 (90分) 変化する学生にどう対応するか 職員から提案する大学改革 学修支援と教職員の役割 17:15 ~ 17:30 (休憩) (15分) 17:30 ~ 18:10 討議結果の発表・総括 (40分)
18:10 ~ 18:30	会場移動・休憩
18:30 ~ 20:30	第 2 部《懇親会》 (2号館8階同窓会ホール)

寺崎昌男先生略歴

立大学院本部調査役・同大学総長室調査役・財団法人中央教育研究所理事長・東京大学・桜美林大学名誉教授。前・日本教育学会会長、大学教育学会会長、日本学会議連携会員。

1932年福岡県に生まれる。1964年東京大学大学院教育学研究科修了。教育学博士。財団法人野間研究所所員、立教大学文学部・東京大学教育学部・立教大学学校社会教育講座・桜美林大学大学院の各教授、同大学大学教育研究所所長、東京大学在職時に附属中・高校長、教育学部長、立教大学在職時に全学共通カリキュラム運営センター部長を歴任。

『大学は歴史の思想で変わる - FD・評価・私学』著者紹介より

2. 会 場 大正大学巣鴨校舎 1号館 2階大会議室 (正門を入ってすぐ右側の建物2階です)

所在地 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

電 話 03-5394-3025(企画広報課直通)

3. 参加費 (当日受付で徴収します)

第 1 部《研修会》	会 員 …………… 無 料 () 一般参加 (会員以外) 1,500 円
第 2 部《懇親会》	会員、一般参加とも 6,000 円

17年度より会員制を導入しています。本会の趣旨に賛同し、継続して参加を希望される方は、ぜひ本会へご入会ください。入会を希望される方は「入会手続き要項」をご請求ください。

4. 宿泊場所【希望者のみ】

<鴨川イン巢鴨>

所在地：〒170 - 0002 豊島区巢鴨 2 - 4 - 7 <http://www.kgh.ne.jp/17/>

電話：03 - 5567 - 1001

宿泊費：6,300 円（税込・軽朝食付き）

- * 宿泊の希望については、参加申込書にご記入ください。
- * 宿泊のお問合せは事務局（下山）までお願いします。
- * 宿泊数 30 を確保していますが、定数に達した場合はご容赦ください。

5. 申込方法 参加ご希望の方は「参加申込書」（エクセルファイル）を、E メール添付にてお送りください。参加費は当日受付で徴収します。

第 18 回人間ネットワーク参加申込書（Microsoft Excel ファイル）

申込み×切（宿泊の手配の要・不要で×切りを設定しています。）

<鴨川イン巢鴨> に宿泊希望の方 5 月 21 日（月）

[期日以降にお送りいただいた場合、宿泊の手配ができかねますので、ご注意ください。](#)

宿泊不要の方、ご自身で確保される方 6 月 8 日（金）

連絡先 私立大学職員「人間ネットワーク」事務局（大阪樟蔭女子大学小阪キャンパス内）

下山 貴宏（学生支援課勤務）

〒577-8550 東大阪市菱屋西 4 - 2 - 2 6

Tel 06-6723-8181 Fax 06-6723-8348

E-mail : shimoyama.takahiro@osaka-shoin.ac.jp

6. テーマ別グループ討議について（お願い）

1 グループ 6 ~ 7 人を目安にグループを設定し、選択したテーマについて討議をしていただきます。研修を有意義なものとするため、事前に次のことをお願いします。

（1）グループ討議のテーマを選択して下さい。（参加申込書にご記入ください）

テーマ

変化する学生にどう対応するか

職員から提案する大学改革

学修支援と教職員の役割

（2）グループ討議参加にあたって

グループ討議は、単なる所属大学の事例紹介ではなく、参加者自身の考えを発表し、意見交換し、参加者同士が刺激を与え合う場にしたいと思っています。

参加にあたっては、お選びいただいた討議テーマについてご自身の考えをまとめておいてください。その際、基調講演のキーワードである「大学人、学生、サービス、役割、改革、カリキュラム、初年次、地域貢献、SD&FD」を参考にして考えを整理してみてください。

